【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公表番号】特表2005-522454(P2005-522454A)
【公表日】平成17年7月28日(2005.7.28)
【年通号数】公開・登録公報2005-029
【出願番号】特願2003-568051(P2003-568051)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/7088　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/127　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/72　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/255　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/282　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/337　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4745　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/475　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/506　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/513　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/519　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/675　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/704　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7048　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7105　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/711　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/24　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/48　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/7088
Ａ６１Ｋ　 9/127
Ａ６１Ｋ　 9/72
Ａ６１Ｋ　31/255
Ａ６１Ｋ　31/282
Ａ６１Ｋ　31/337
Ａ６１Ｋ　31/4745
Ａ６１Ｋ　31/475
Ａ６１Ｋ　31/506
Ａ６１Ｋ　31/513
Ａ６１Ｋ　31/519
Ａ６１Ｋ　31/675
Ａ６１Ｋ　31/704
Ａ６１Ｋ　31/7048
Ａ６１Ｋ　31/7105
Ａ６１Ｋ　31/711

Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　47/24
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｋ　47/48
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/04

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月3日(2006.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１２】
請求項１記載の方法において、ポリエチレンイミン窒素の核酸リン酸に対する比率が約２：１から約５０：１であることを特徴とする方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１５】
請求項１４記載の方法において、前記ｐ５３が、エアゾール化溶液１０ｍｌあたり２ｍｇのｐ５３プラスミドを含んでなる投与量で投与されることを特徴とする方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２４】
請求項１７記載の方法において、前記ｐ５３が、エアゾール化溶液１０ｍｌあたり２ｍｇのｐ５３プラスミドを含んでなる投与量で投与されることを特徴とする方法。